

頂いた意見への対応方針

番号	年月	会議	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置 (①②の場合記載)
①	H30.7 H30.9 H30.10	子育て教育部会	藤本部長 (部会提案)	<p>○「地域コミュニティと学校の連携をどのように作っていくか」をベースに、中学校を支援する「元気アップ」の取組と課題を確認してはどうか。</p> <p>○様々な地域資源を活かした青少年育成、とりわけ学校支援を通した中学生の育成においては元気アップが活用できるが、そのためにはまず次のような取組が必要ではないか。</p> <p>1. 元気アップの取組についての情報発信など見える化できる仕組みを作る。 2. 元気アップに対する生徒側の要望について聞き取りを行う。 3. 元気アップに関わることの意義など地域の思いを把握する。 4. 専門職の配置等、元気アップを発展させるために考えられる環境整備のうち、実現が可能なことを洗い出していく。</p>	<p>○子育て教育部会において、中野中学校と白鷺中学校の元気アップからピアリングを行い、取組と課題について確認済み。</p> <p>1. 元気アップの見える化できる仕組みの構築の一つとして、区役所ホームページの利用について検討します。 2及び3. モデルとなる元気アップを想定しつつ、子育て教育部会による生徒及び地域からの聞き取り支援を行います。 4. 元気アップを発展させるための環境整備について子育て教育部会の意見の集約、及び地域コーディネーターの負担軽減に向けた環境づくりを支援します。</p>	① ②	<p>【平成31年度運営方針における関係取組】 【具体的取組1-2-4】 ニーズに応じた学校への支援</p> <p>平成31年度 予算算定額 9,940千円</p>
②	H30.7 H30.9 H30.10	子育て教育部会	藤本部長・中津委員・ 波多野委員・榑委員・ 筒井委員・松田委員	<p>○「子育て応援ナビ」について情報の検索性や周知方法について改善可能な点があるのではないかと。</p> <p>1. 「1歳6ヶ月児健康診査」の際や「転入パックの配布」の際に加えて「母子手帳の交付時」にお渡ししてはどうか。 2. どのような用途で使っているのかユーザーの声やアクセス数等の検証が必要ではないかと。</p>	<p>○子育て教育部会委員と連携し、実際にサイトを確認しながら情報の検索や操作体験を行い具体的な改善可能な点、周知方法についての意見交換を実施しました。</p> <p>1. 効果的なタイミングでの周知と考えており、具体的に導入予定です。 2. サイトの立ち上げから2年以上が経過しており、検証が必要であると考えています。検証の方法を今後検討し実施したいと考えています。</p>	②	<p>【具体的取組1-3-1】 【具体的取組4-1-1(再掲)】 区の広報媒体及び内容の充実</p> <p>平成31年度 予算算定額 20,673千円</p>
③	H30.7 H30.9 H30.10	安心つながり部会	(部会提案) 建林部長	<p>○「防災マップ」や「水害ハザードマップ」について、知らない人が一定数存在するのではないかと、その認知度を調査してはどうか。</p> <p>○「避難指示(緊急)」や「避難勧告等」について、どれくらいの人たちが理解しているのかまた発令される情報の意味やその際取る行動についての認知度を調査してはどうか。</p>	<p>○平成30年度第1回東住吉区区民アンケートにおいて、設問項目として「水害ハザードマップ」及び「防災マップ」の認知度と「避難指示(緊急)」や「避難勧告等」についての情報の意味と理解度について調査を実施しました。</p> <p>これに加えて、広報紙「なでしこ」9月号において避難場所の情報や避難所の種類を掲載した「防災マップ」及び避難勧告等の発令基準や浸水想定を掲載した「水害ハザードマップ」を保存版として周知しました。今後、区民アンケートの調査結果を踏まえ、危機管理室と連携して防災にかかる啓発を一層強化していきます。</p>	① ②	<p>【具体的取組2-1-1】 家庭の防災力強化(自動)</p> <p>平成31年度 予算算定額 318千円</p>
④	H30.7 H30.9 H30.10	安心つながり部会	建林部長 (部会提案)	<p>○近年の災害の発生状況を踏まえ、介護・福祉施設の多い地域を選定し、地域・企業・介護がつながるセーフティネットのモデルを作ってはどうか。</p> <p>1. 町会等の近所の方々とは避難時に連携出来ている部分もあるが、施設等の方で普段から顔も名前も知らない状態では連携が難しいのではないかと、「普段からのつながり」を作っていく必要があるのではないかと。 2. 校長先生をはじめとした、学校関係者や地域振興会、社会福祉協議会、民生委員、地域での介護施設の責任者との連携が必要。 3. 地域との関わりが少ない人や若い人たちへの情報発信が必要。地域活動協議会等の取組がどのように地域に貢献しているかや、地域行事に参加してもらえるような情報の発信が必要。 ○「中学生防災リーダー」の取組が効果的だと考えられるが、今後の連携の方法の検討が必要ではないかと。</p>	<p>○安心つながり部会でモデル地域とされた矢田東地域において、「普段からのつながり」作りを促進するテーマ、関係先を検討し、他の地域へ広がるセーフティネットのモデルとしていく。 また、地域自らが地域との関わりが少ない住民へどのように地域行事などの情報を発信していくか検討、実施し、「普段からのつながり」作りにつなげていく。 ○区内全中学校で行っている防災訓練等において、学校、地域に対しお互いのつながりが更に深まる内容や好事例を提案していく。</p>	②	<p>【具体的取組2-1-2】 地域の防災力強化(共助) 【めざす成果及び戦略 3-1】東住吉つながりプログラムの充実</p> <p>平成31年度 予算算定額 1,247千円</p>

※分類

①当年度(30年度)において対応 ②31年度運営方針に反映または31年度に対応予定

③31年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可

⑤その他